

福島経済マンスリー

8月の県内経済は、一部に消費増税前の駆け込み需要による反動減がみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

1. 平成26年8月の県内経済

| 項目 | コメント | 景況判断 | |
|---------|---|------|----|
| | | 変化方向 | 水準 |
| 県内経済の景況 | 県内経済は、一部に消費増税前の駆け込み需要による反動減がみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。 | | |
| 消費動向 | 大型小売店販売額は、合計では4ヵ月連続して前年比で増加した。一方、新車登録台数は、5ヵ月連続で前年を下回った。 | | |
| 公共投資 | 公共工事前払保証取扱は、件数が5ヵ月ぶりで前年を下回ったものの、請負金額と保証金額が4ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。 | | |
| 設備投資 | 民間・非居住用建築着工は、棟数および床面積、工事費予定額がそれぞれ3ヵ月ぶりで前年を下回った。 | | |
| 住宅投資 | 新設住宅着工戸数は合計で3ヵ月連続で前年を下回った。内訳をみると、貸家が5ヵ月ぶりで前年を上回ったものの、持家が3ヵ月連続、分譲が5ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。 | | |
| 生産活動 | 鉱工業生産指数は、前月比が2ヵ月ぶりで下降したものの、前年比は11ヵ月連続で上昇した。業種別の前月比をみると、8業種で上昇し、11業種で下降した。 | | |
| 雇用動向 | 有効求人倍率は、季節調整値が前月を下回ったが、原数値が前年を上回った。また、雇用保険受給者実人員は11ヵ月連続で前年を下回った。 | | |

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3ヵ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3ヵ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。なお、公共投資および設備投資は6ヵ月加重移動平均値による判断、民間・非居住用建築着工および鉱工業生産指数は7月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

| | | | | |
|----|--------|----|-------|---|
| | | | | |
| 晴れ | 晴れ一部曇り | 曇り | 曇り一部雨 | 雨 |

良
い
悪
い

2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比

(単位：%)

| | 項 目 | 前 年 同 月 比 | | | | | |
|------|-----------------------------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 26年3月 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 |
| 消費動向 | 大型小売店販売額（全店舗） | 11.3 | △ 2.4 | 3.7 | 2.7 | 4.0 | 6.2 |
| | 乗用車新車登録台数 | 19.1 | △ 14.3 | △ 10.3 | △ 1.6 | △ 3.0 | △ 18.1 |
| 公共投資 | 公共工事前払保証取扱保証請負金額 | 60.8 | △ 40.9 | 219.0 | 67.7 | 17.8 | 6.0 |
| 設備投資 | 建設着工工事費予定額（民間・非居住用） | △ 20.4 | △ 21.4 | 288.4 | 124.0 | △ 41.3 | — |
| 住宅投資 | 新設住宅着工戸数 | 5.1 | △ 19.0 | 16.8 | △ 1.9 | △ 19.0 | △ 14.1 |
| 生産活動 | 鉱工業生産指数（総合） ^{注1} | 16.5 | 7.8 | 3.5 | 9.5 | 0.9 | — |
| 雇用動向 | 有効求人倍率（パート含む） ^{注1} | 0.16 | 0.17 | 0.18 | 0.15 | 0.19 | 0.16 |
| | 雇用保険受給者実人員 | △ 10.8 | △ 16.7 | △ 21.0 | △ 16.6 | △ 21.8 | △ 21.1 |

注1 原指数

(2) 前月比

(単位：%)

| | 項 目 | 前 月 比 | | | | | |
|------|-----------------------------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|
| | | 26年3月 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 |
| 消費動向 | 大型小売店販売額（全店舗） | 28.4 | △ 18.9 | 9.0 | △ 0.7 | 2.1 | 4.8 |
| | 乗用車新車登録台数 | 54.6 | △ 59.6 | 3.2 | 23.7 | △ 0.3 | △ 30.4 |
| 公共投資 | 公共工事前払保証取扱保証請負金額 | 373.1 | △ 46.9 | 68.5 | △ 7.9 | 16.4 | △ 35.4 |
| 設備投資 | 建設着工工事費予定額（民間・非居住用） | △ 45.6 | 17.5 | 61.8 | 43.0 | △ 59.8 | — |
| 住宅投資 | 新設住宅着工戸数 | △ 26.2 | △ 22.9 | 23.8 | 28.7 | 11.5 | △ 33.2 |
| 生産活動 | 鉱工業生産指数（総合） ^{注2} | 13.7 | △ 10.1 | △ 2.0 | 2.0 | △ 4.6 | — |
| 雇用動向 | 有効求人倍率（パート含む） ^{注2} | 0.04 | 0.03 | 0.05 | 0.00 | △ 0.01 | △ 0.02 |
| | 雇用保険受給者実人員 | 0.8 | △ 0.6 | 7.6 | 0.8 | 0.8 | △ 4.9 |

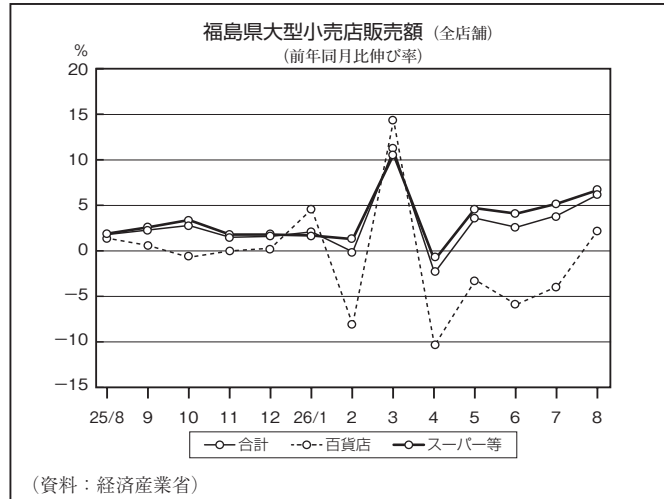
注2 季節調整値

3. 県内経済動向

消費動向

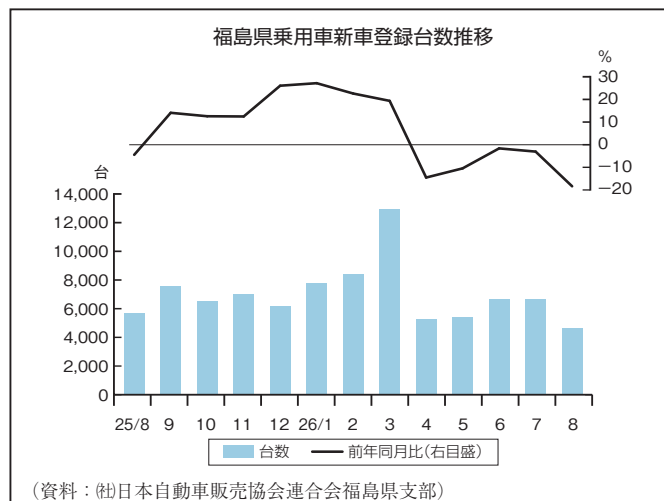
大型小売店：4ヵ月連続で前年比増

8月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で218億24百万円（前年同月比+6.2%）と4ヵ月連続で前年を上回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品や飲食料品が前年を上回ったことなどから、合計では同+2.3%となった。また、スーパーは、飲食料品が前年を上回ったため、合計では同+6.7%となった。



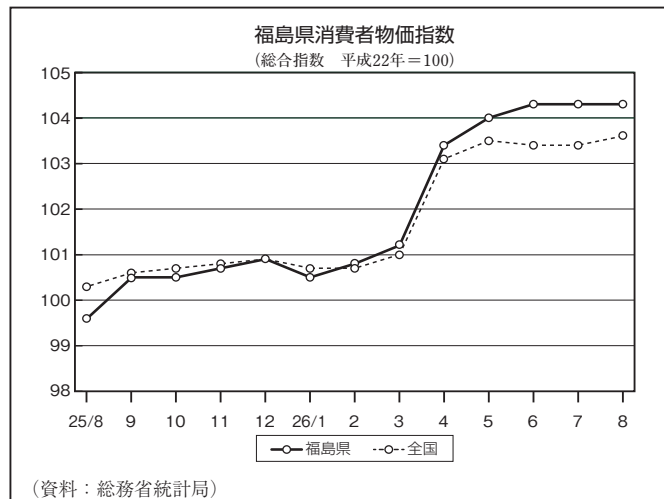
乗用車販売：5ヵ月連続で前年比減

8月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で4,635台（前年同月比△18.1%）となり、5ヵ月連続で前年を下回った。車種別で見ると、小型車が1,498台（同△13.0%）と3ヵ月ぶり、普通車が1,457台（同△13.7%）と5ヵ月連続、軽乗用車が1,680台（同△25.2%）と3ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。



消費者物価指数：前年比で上昇

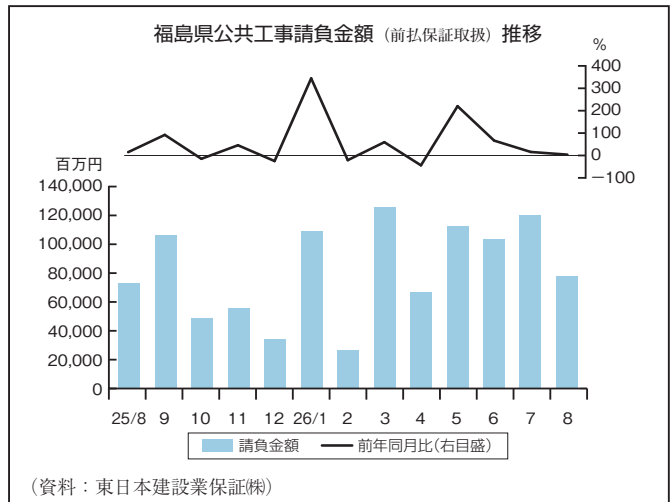
8月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成22年=100）で見ると、104.3と前月と変わらなかったが、前年同月比では+4.7%となった。費目別に前月比で見ると、「光熱・水道」の99.1（前月比+2.2%）など2費目が下降したものの、「被服及び履物」の96.9（同△2.7%）など6費目が上昇した。



公共投資

公共工事：請負額は4ヵ月連続で前年比増

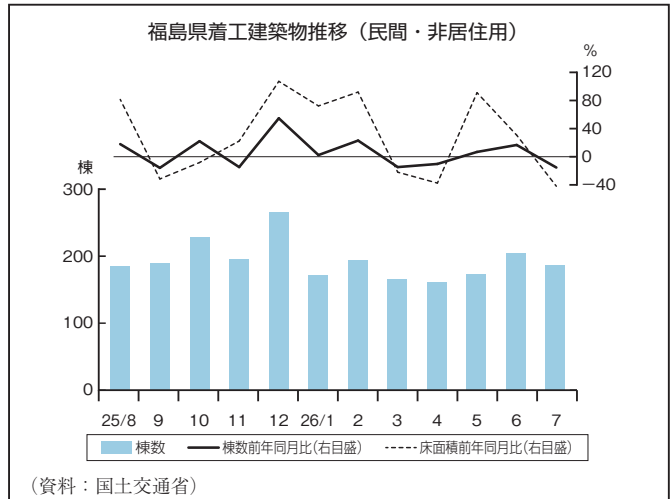
8月の公共工事前払保証取扱は、件数が695件（前年同月比△4.0%）と5ヵ月ぶりで前年を下回った。一方、請負金額は782億65百万円（同+6.0%）、保証金額は362億75百万円（同+6.5%）と、ともに4ヵ月連続で前年を上回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が3ヵ月ぶりで前年比減

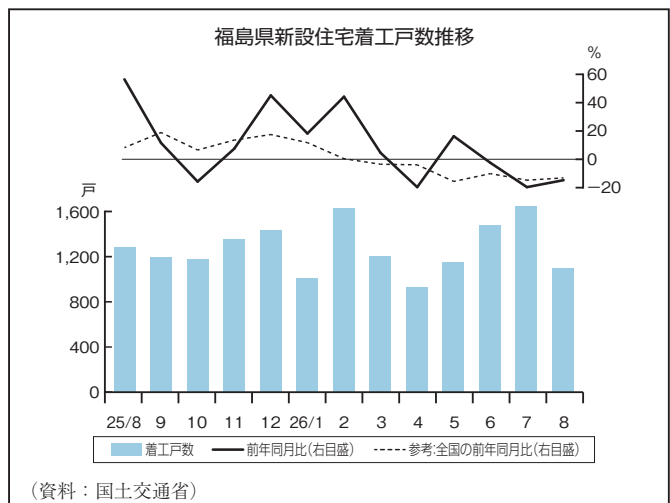
7月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が186棟（前年同月比△15.1%）、工事費予定額が127億38百万円（同△41.3%）、床面積が67,171㎡（同△41.4%）と3ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。



住宅投資

住宅建設：3ヵ月連続で前年比減

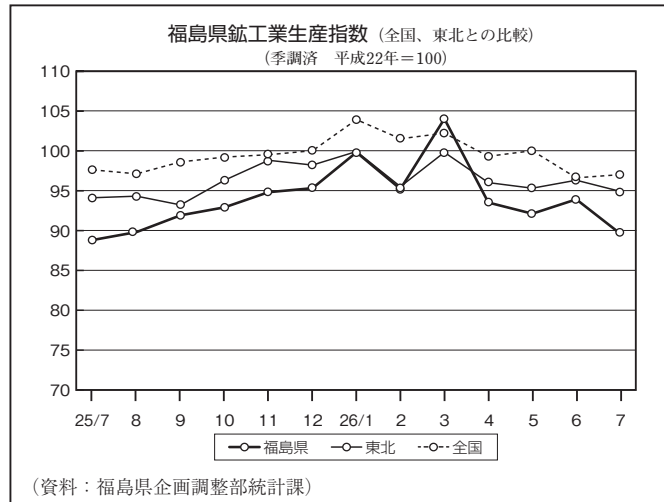
8月の県内新設住宅着工戸数は、1,100戸（前年同月比△14.1%）と3ヵ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「貸家」が398戸（同+16.0%）と5ヵ月ぶりで前年を上回ったものの、「持家」が583戸（同△16.1%）と3ヵ月連続、「分譲」が116戸（同△52.3%）と5ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。



生産活動

鉱工業生産指数：11ヵ月連続で前年比増

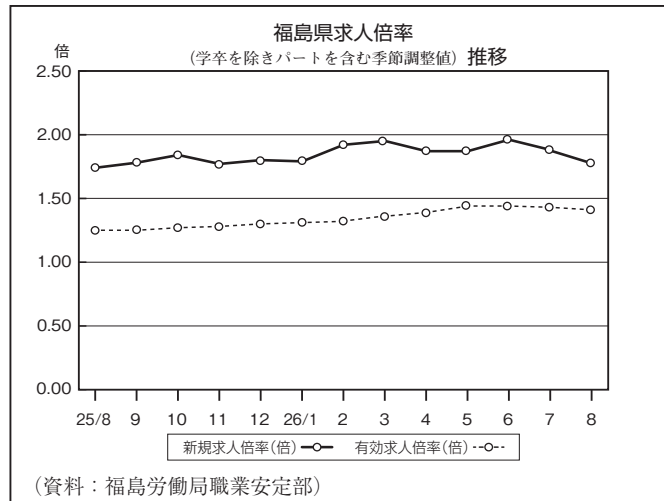
7月の鉱工業生産指数は、89.6（季節調整値）で前月比△4.6%と2ヵ月ぶりで前月を下回ったが、原指数が97.2で前年同月比+0.9%と11ヵ月連続で前年を上回った。業種別の季節調整値をみると、「繊維工業」（前月比+10.0%）など8業種で上昇したが、「食料品・たばこ工業」（同△21.1%）など11業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は53ヵ月連続前年比増

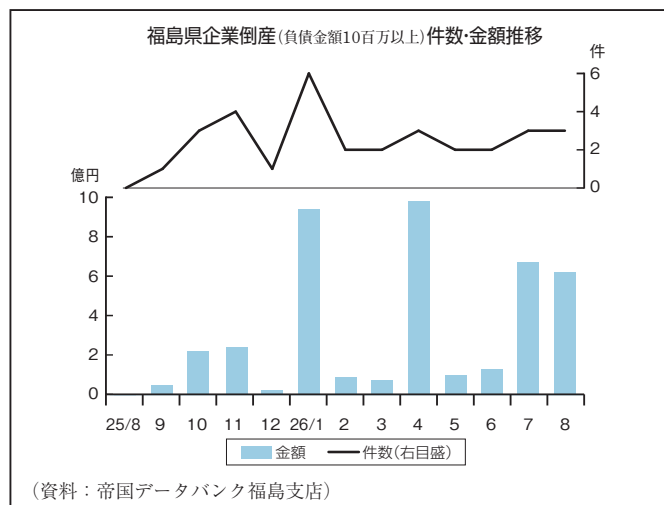
8月の新規求人倍率は、季節調整値が1.78倍（前月比△0.1ポイント）、原数値が2.05倍（前年同月比+0.09ポイント）となった。また、8月の有効求人倍率は、季節調整値が1.41倍（前月比△0.02ポイント）、原数値が1.44倍（前年同月比+0.16ポイント）と53ヵ月連続で前年を上回った。また、8月の雇用保険受給者実人員は6,956人（前年同月比△21.1%）と11ヵ月連続で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：負債額が前月比で減少

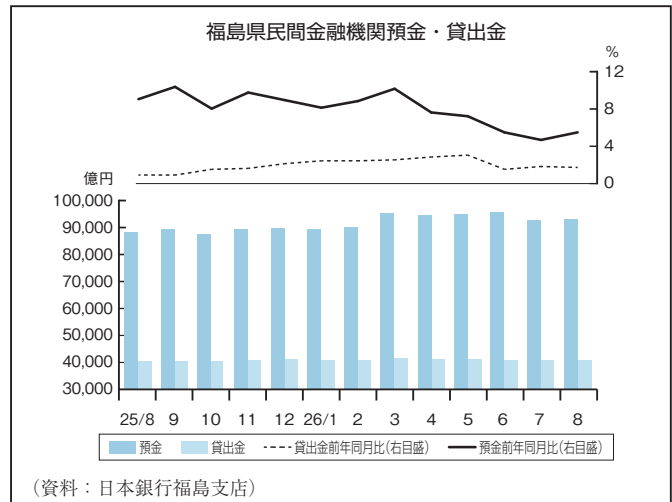
8月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が3件（前月比0.0%）、負債総額が6億52百万円（同△9.2%）となり、負債総額は前月を下回った。業種別では、製造業、建設業、サービス業が各1件となった。



金融動向

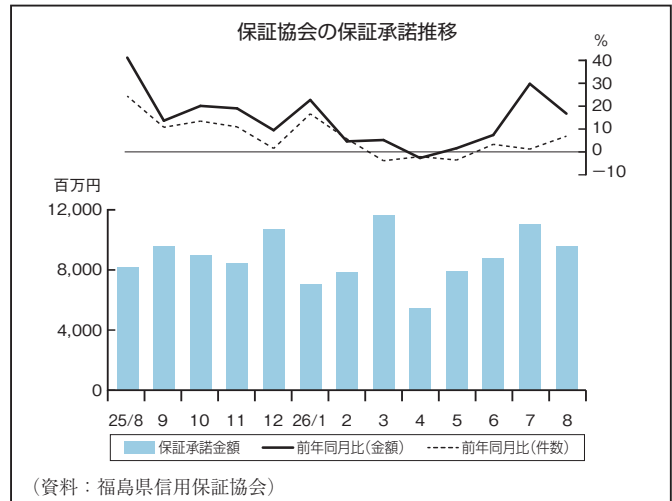
資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の8月末の預金残高は、8兆9,917億円（前年同月比+5.5%）と90ヵ月連続、貸出金残高は、4兆302億円（同+1.8%）と15ヵ月連続で前年を上回った。



保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比増

8月の保証承諾は、件数が796件（前年同月比+6.7%）、保証金額が95億51百万円（同+16.6%）となった。また、8月末日現在の保証債務残高は、件数47,000件（同△4.1%）、金額4,144億90百万円（同△8.6%）となった。一方、8月中の代位弁済は、件数が55件（同+120.0%）、金額が6億75百万円（同+284.5%）となった。



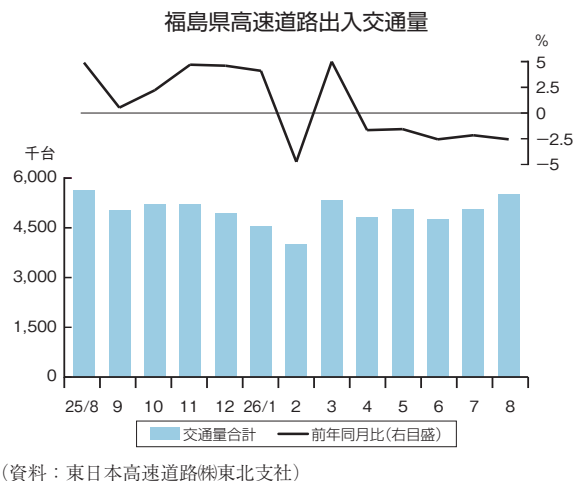
4. 業種別動向

消費動向

家電量販店 8月の家電量販店の売上高は、掃除機、テレビ、エアコンなどが前年を上回ったことから、合計では前年を5%ほど上回った。

ホームセンター 8月のホームセンターの売上高は、エクステリアなどが引き続き前年を上回ったことに加え、増税前の駆け込み需要による反動減が和らいできたことから、合計では前年をわずかに上回った。

旅行 7月の旅行取扱額は、国内外とも前年並みとなったことから、合計でも前年実績とほとんど



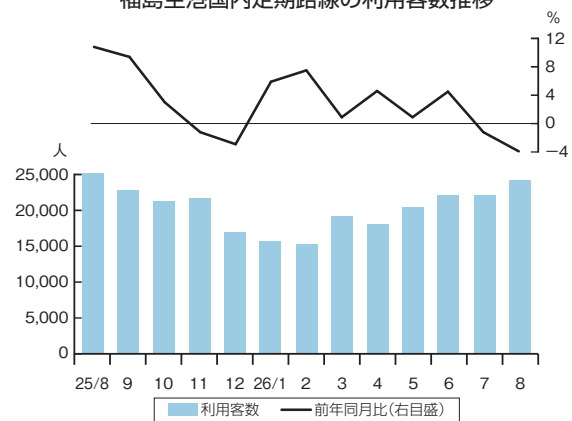
変わらなかった。

高速道路 8月の県内自動車道出入台数は、合計で5,495,208台（前年同月比△2.6%）と、5ヵ月連続で前年を下回った。路線別にみると、常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）は1,375,596台（同+7.5%）と6ヵ月連続で前年を上回った。一方、東北自動車道（白河IC～国見IC）は2,890,929台（同△5.0%）、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は729,187台（同△10.6%）とともに5ヵ月連続、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は499,496台（同△0.3%）と3ヵ月ぶりでそれぞれ前年を下回った。

福島空港 8月の福島空港国内定期路線の利用状況は、24,137人（前年同月比△3.9%）と前年を下回った。路線別にみると、札幌便は10,807人（同△9.8%）、大阪便は13,330人（同+1.5%）となった。

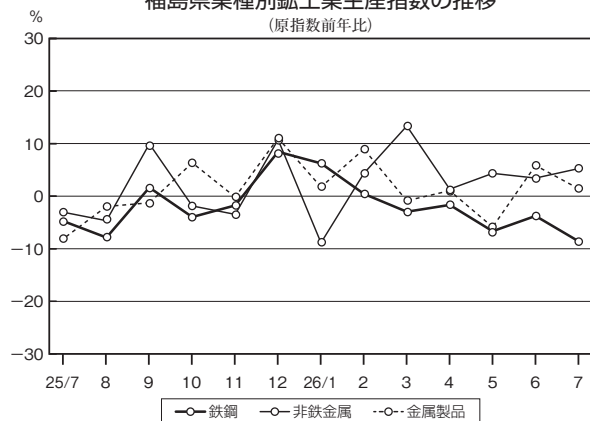
（国際定期路線は全便運休）

福島空港国内定期路線の利用客数推移



（資料：福島県商工労働部空港交流課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移 (原指数前年比)



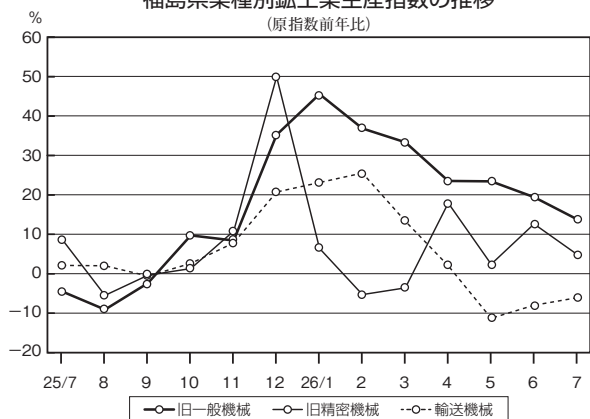
（資料：福島県企画調整部統計課）

生産活動

化学 8月の食品包装フィルム用合成樹脂は、中国などの海外需要がほぼ横ばいで推移していることから、前年並みの生産水準となっている。一方、フッ素樹脂は、リチウムイオン電池の材料など、海外からの受注量が増えたことなどから、前年を上回る生産となった。

鉄鋼・金属 8月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が米国などの需要が回復してきたことなどから、前年をわずかに上回る水準となった。また、半導体向け電子材も、新興国の製品との競合が続いているものの、円安の影響が続いており、前年を20%程度上回る生産を確保した。8月の建機用鋳造品は、前年を10%以上上回る生産となったものの、中国やオーストラリアを中心に海外からの受注減少が続いている。陸船用バルブは、中国などの低価格品との競合が続いている中で、安定し

福島県業種別鉱工業生産指数の推移 (原指数前年比)



（資料：福島県企画調整部統計課）

た受注量を確保したことから、前年を10%ほど上回る生産となった。

輸送用機械 8月の鋳造品は、トラック向けがタイの需要に不透明感が出ているものの、北米および国内向けの生産が堅調なことから、合計では前年を5%以上上回る生産となった。一方、オイル

シールは、国内向けに消費増税後の反動減がみられたことなどから、合計では前年をわずかに下回る生産となった。

電気機械 8月の電気機械は、モーターの生産が前年をわずかに上回ったものの、誘導炉の落ち込みが大きかったことなどから、合計では前年を10%以上下回る生産となった。

情報通信機械 8月の情報通信機械は、国内向けモバイル基地局の生産が前年を下回ったことなどから、合計では前年比で10%程度の減産となった。

電子部品・デバイス 8月のLSI（大規模集積回路）の生産は、需要に不透明感が続いていることから、前年を10%ほど下回った。

精密機械 8月の医療用内視鏡は、欧米向け高付加価値製品および国内向け新製品の生産が堅調なことから、合計では前年並みの生産水準を確保した。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、海外からの受注が増加しており、前年を20%以上上回る生産となった。

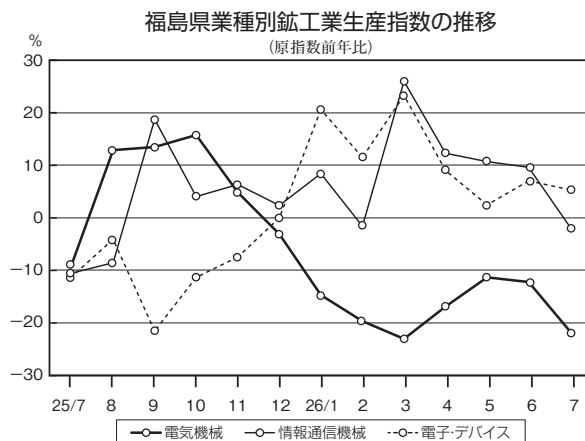
紙・紙加工品 8月の製紙は、消費増税前の駆け込み需要による反動減がはじめており、感熱紙などの減産から、合計では前年を5%以上下回る生産となった。

清酒 8月の清酒移出数量は、828kl（前年同月比△5.8%）と5ヵ月連続で前年を下回った。酒類別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が412kl（同△0.3%）、一般酒（特定名称酒以外の酒）が417kl（同△10.7%）と、ともに5ヵ月連続で前年を下回った。

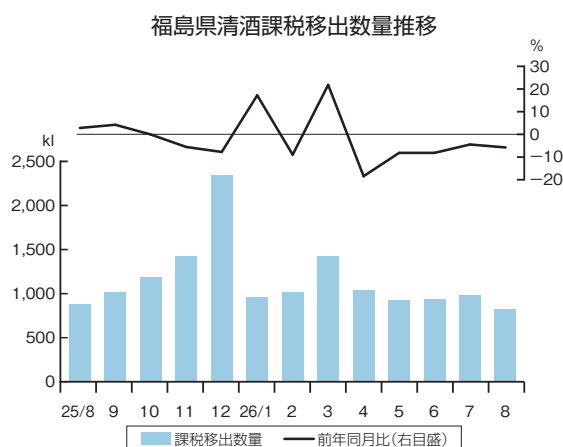
化合繊維物 8月の化合繊維物は、単価の高い製品にシフトしている影響などから、生産量が前年を20%以上下回ったものの、売上高では前年を20%程度上回った。

ニット 8月のニットは、冬物商品の生産が中心となり、前年を10%ほど下回る生産となった。

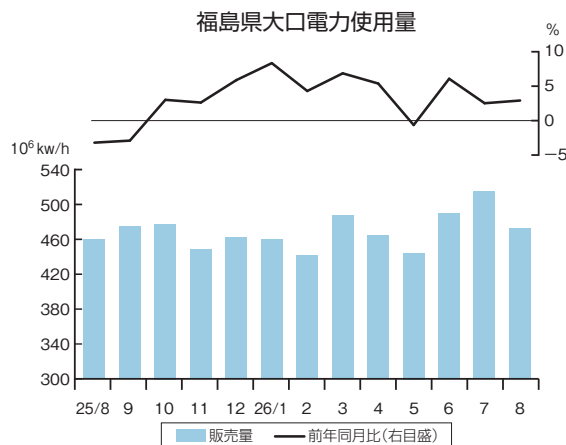
大口電力 8月の大口電力販売量は、473百万kw/h（前年同月比+2.9%）と3ヵ月連続で前年を上回った。大口主要販売先を業種別にみると、



(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)

「非鉄金属」で104百万 kw/h（前年同月比+7.8%）、「電気機械」で80百万 kw/h（同+1.3%）、「輸送用機械」で47百万 kw/h（同△5.5%）、「化学」で44百万 kw/h（同+7.5%）、「一般機械」で25百万 kw/h（同+0.5%）、「紙・パルプ」で19百万 kw/h（同+23.2%）となっている。